

週刊ブロック通信

コンクリート
製品の業界紙
週刊ブロック通信

購読、広告の
お申し込みは

TEL 03-3431-2811

FAX 03-3578-3450

kjp@msj.biglobe.ne.jp

(株) 公共事業通信社

発行所 公共事業通信社 東京都港区新橋6-22-6 JOYOビル7F 電話 03(3431)2811(代)
編集発行人 黒澤隆寿 購読料1カ年39,000円+税 前納 毎週月曜日発行 FAX 03(3578)3450

道路拡幅に特殊L型

昭和コンクリート 高さ5m超分割方式

昭和コンクリート工業(本社、岐阜県岐阜市香蘭、社長 村瀬大一郎氏)は、千葉県君津市内の道路拡幅工事に大型の特殊L型擁壁を納入した。

当初は構造物を使用しない法面設計を検討したが、近くに障害物があるため直壁の構造物とする事になった。施工現場が狭隘な場所にあることに加え、擁壁高さが5mを超え部材輸送に課題があ

ること、さらにコーナー部もあるなどプレキャスト製品による施工は難しいと見られたが、工事に伴う交通規制期間を極力短縮する必要がある、同社では輸送が可能な分割式のプレキャスト工法を提案。プレキャスト工法の最大価値である急速施工が評価ポイントとなり、同社の提案が採用となった。

同社が納入したのは高さ5m超のL型形状で、底版と縦壁部材を分割施工する特殊L型擁壁。プレキャスト部材の接合部にはモルタル充填式継手を使用し、部材間の鉄筋の連続性と一体性を確保し、製品端部の小口止め部においても、フルプレキャスト化を実現した。また一部のコーナー部では、構造上の理由からプレキャスト製品で対応できず、底版部のみを現場打ちで対応するハーフプレキャストによって、短期施工を実現した。施工延長は35mで、このうち特殊擁壁部が26・9m(底版現場打ち5・8mを含む)。擁壁高は最大高

分割施工する特殊L型擁壁。プレキャスト部材の接合部にはモルタル充填式継手を使用し、部材間の鉄筋の連続性と一体性を確保し、製品端部の小口止め部においても、フルプレキャスト化を実現した。また一部のコーナー部では、構造上の理由からプレキャスト製品で対応できず、底版部のみを現場打ちで対応するハーフプレキャストによって、短期施工を実現した。

5・9m(うち底版現場打ち部の高さ5・3m)。重量は最大重量13・6トン(縦壁部材6・1+底版部材7・5トン)、底版現場打ち部の縦壁部材5・3トン。同社では高い品質を確保し、施工現場の安全性向上と作業の効率化に貢献するプレキャスト製品によって、インフラ整備における社会貢献と合わせて現場で働く人への貢献にも尽力する考えでいる。

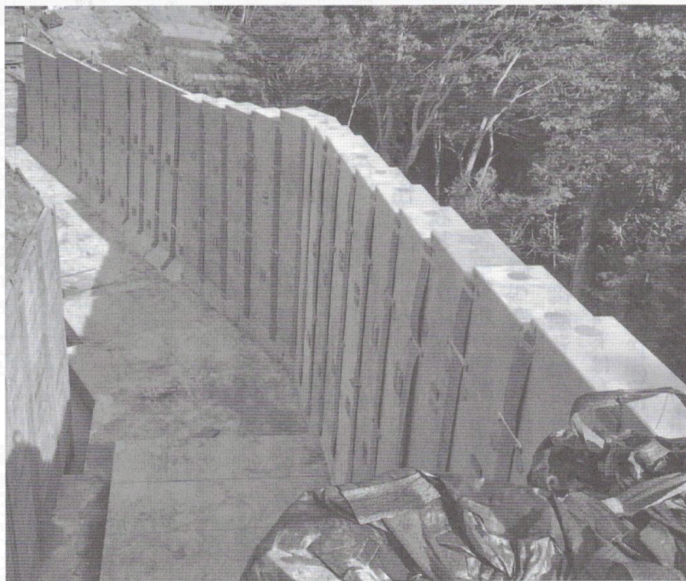
【7面に関連写真】

EXG2021

開催中止を発表

2年連続

エクステリア×ガーデンエキシビジョン実行委員会は1日、4月9・10日の両日に幕張メッセ(千葉県美浜区)で予定していたEXG2021の開催を中止すると発表した。EXGの開催中止は昨年(2020)に続き2年連続。昨年12月上旬に開催を発表したが、緊急事態宣言の再発出で一転、関係者や来場者の感染リスクに加え、例年通りの出展や来場も期待できないと判断した。



セメント工場のCO2回収
三菱重工業

3

第24回総会を
オンライン開催

全国ボックスウォール協会

4 5

緊急治水対策
プロジェクト
国交省

7